

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成24年7月19日 (2012.7.19)

【公開番号】特開2011-23993(P2011-23993A)
 【公開日】平成23年2月3日 (2011.2.3)
 【年通号数】公開・登録公報2011-005
 【出願番号】特願2009-167497(P2009-167497)
 【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月4日 (2012.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 3 】

また、P2その他の、P1以外のOFDMシンボル、すなわち、P2のOFDMシンボルと、データ(Normal)のOFDMシンボルについては、DVB-T2で規定されているサブキャリア間隔のうちの最も広いサブキャリア間隔の他、その最も広いサブキャリア間隔以外のサブキャリア間隔(2K, 4K, 8K, 16K、及び、32KのFFTサイズそれぞれに対応する間隔)のサブキャリアの使用が可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 2 7 】

なお、P2において、エクステンデッドキャリア(Extended Carrier)には、すべて、パイロット信号が配置される。また、MISOのP2では、ノーマルキャリア(Normal Carrier)の両端それぞれの2つのサブキャリアには、パイロット信号が配置される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 9 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 2 9 4 】

位相検出部 6 4 は、セクタ 6 3 I からのI成分と、セクタ 6 3 Q からのQ成分とからなる、PRBS復号後のサブキャリアの位相を求め、マッピング部 5 6 (図 1 1) に供給する。

【手続補正 4】

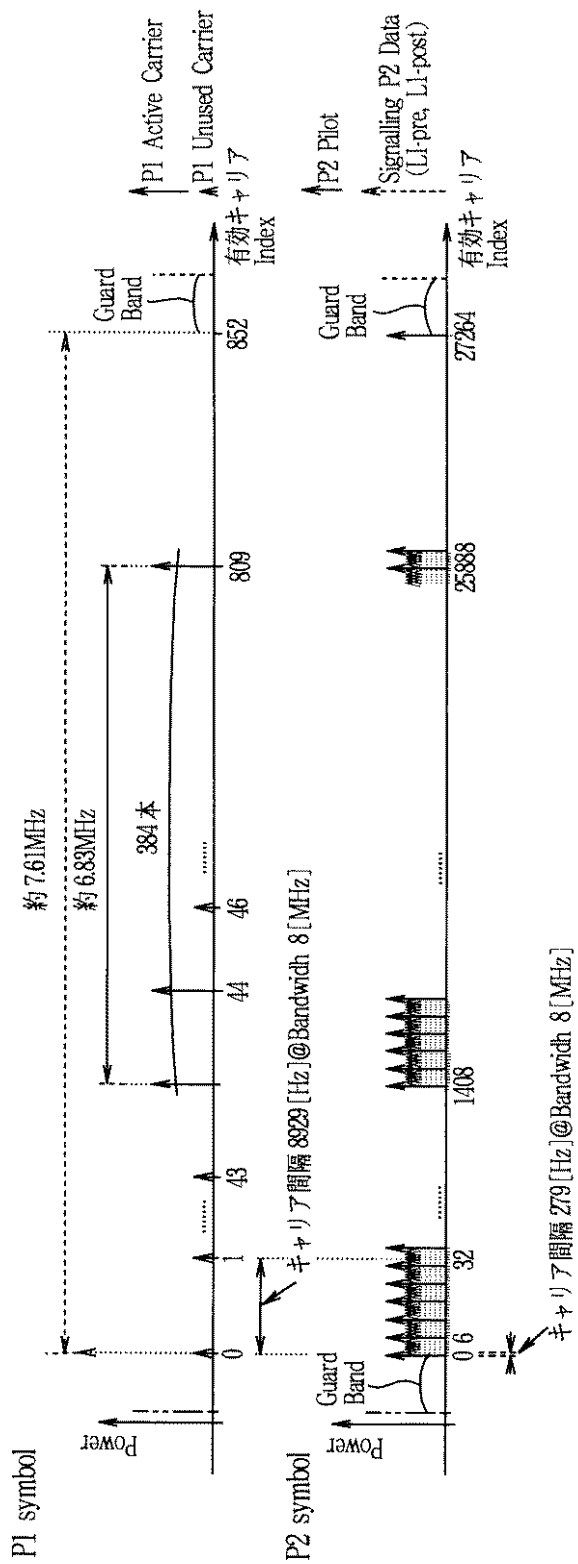
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

図 10



P1 symbol (IK OFDM) と P2symbol (@FFTSIZE32K, NORMAL mode の場合) のキャリア配置